

2020 年度 JTU トータルサポート委員会

会議名称	2020 年度トータルサポート委員会
開催	2021 年 2 月 24 日（水）11 時～12 時
形式	インターネット ウェブ会議
出席	委員：島田佳久委員長、山崎秀樹委員、小美野通委員、塩野谷聡委員、 田中祐志委員、樋口善英委員 ・事務局：大塚眞一郎専務理事、土屋佳司、児玉健太

会議内容	
[1] 開会挨拶	島田委員長
	・ プロフェッショナルな集団としてオリパラマルチの強化チームのサポート推進。
[2] 開会宣言	大塚専務理事
[3] 2021 年のテーマとアンチドーピング委員会へお願いしたいこと／大塚専務理事	
	・ 「地域に寄り添う」「原点回帰」「選択と集中」をテーマに各事業を推進 ・ 専門委員会活動について 2021 年度も現有体制の継続し、強化チームと連携し事業を推進
[4] 2020 年活動実績と 2021 年への課題	
1) マテリアル	
・実施事項	・オリパラナショナルチームのレースウエアの開発と選手ヒアリングの推進（アシックス社と連携） ・暑熱対策グッズ（アイスベストなど）の開発によるサポート体制の推進（アシックス社と連携） ・レインウエアや防寒ウエアなどサポートウエアの手配調整
・課題	・感染症の影響もあり、選手とのコミュニケーション機会の減
2) バイクメカニック	
・実施事項	・行動制限があるなか可能な範囲で選手のバイクサポートの実施。
・課題	・2020 年は感染症の影響による大会延期など理由から選手とのコミュニケーションが限定的 選手の需要把握のためのヒアリング機会増
3) トレーナー	
・実施事項	・遠征帯同に限定せず、選手とのコミュニケーション機会を構築（パラ）
・課題	・疲労回復プログラムなども温浴を使った指導などあらたなアプローチも検討
4) 2021 年度に向けた取り組み内容確認	
・実施事項 1)	・2020 年度・2021 年度の活動スケジュールの確認と東京 2020 大会の準備状況と想定されるサポート体制の共有
・実施事項 2)	・スイム・バイク・ラン各種目のマテリアルなどの IF 基準・ルールなど情報収集に注力
・実施事項 3)	・選手・現場の需要を把握し、能動的なサポート体制の構築